

五分館だより

第53号

豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 燦プランニング
(堀本明一)

堀越の今日

平成17年11月現在
戸 数 86戸
人 口 358人
(男167・女191)

まつたけ不作 観光にも影響

今年は松茸が豊作と入札前には報じられましたが、いざシーズンに入ると茸の出はサッパリ。まつたけ観光も短期間の営業を余儀なくされ、残念な年となりました。

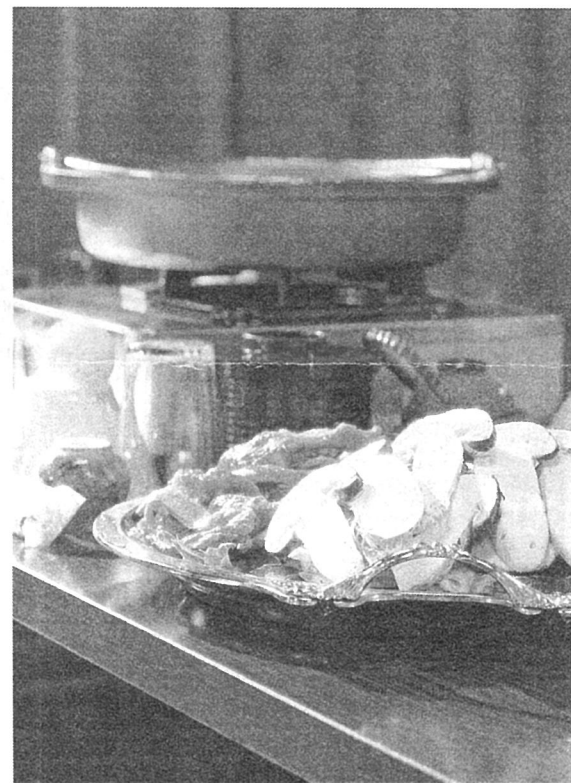


武田 徹さん 武田いずみさん

今年のまつたけ観光につきましては、区民各位の御支援御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。本年度も五名の方の協力を頂き区委員十二名と合わせて十七名で組織運営致しました。今年は二年続きの豊富が予想されたのに、全くの不作で茸の収穫量確保が困難となり十六日を最後に営業を停止せざるをえませんでした。今年も異常気象なのか、年々本来の季節感が失われていく気がしてならない。実りの秋、実りが豊かであってほしい。誰もが願うところであるが、近年の気象状況はまちがいに温暖化に向かっていて、当地におけるりんごの栽培にも影響が出はじめています。りんごの栽培には十四度か

掘越で生活をはじめて三カ月がたとうとしています。イメージ通り果樹が撓わに実り、のどかで空気も良く心まで伸び伸びするようです。子供達も狭いアパート暮らしと異なり、元気に遊んでいます。毎年行われる行事も家族全員が参加でき和やかな雰囲気です。まとまりがあるなあという印象を受けました。何かと出不精な私ですが縁あってこの地で生活できることに感謝し、経験豊富

ら十六度が適しているといわれているが、いずれこの地域でのりんご栽培が不可能になるだろうといわれている。こうした現状下これからのまつたけ観光にも大きな影響が出てくると思われる。自然相手のこと何



とも打つ手はないと思うが、今年度から消費税を納めなくてはならなくなりまして。現状分析してみてもお客さんに食してもらえただけでは営業が成り立ちません。松茸が豊富に出て売店販売が出来てこそ利益が上がります。メニュー単価の見直しも含め今後の運営について皆で英知を出し合って、出来る限り長く営業出来ることを望みます。

本年度は残念な結果となりましたが、来年こそ豊作であることを願うものであります。

委員長 堀本啓司

来年は豊作を願って！

この人 紹介

武田いずみさん 東
西元芳子さん 西部

な先輩の皆様のご指導をいただきながら、早く慣れ、住み良い村づくりに貢献できよう、少しでも役に立てたらと思っています。

西部の西元芳子です。

堀越に来て、来年六月で二年になります。可愛い息子と真美、楽しい家族で幸せです。出身は中国の上海です。人口一千二十万人の大都市です。セントレアから飛行機で二時間二十分で行けます。堀越にきた感想は、山の中で家が少なく、道は狭く坂道が多くて街灯が少なく夜道が暗いと思いました。車の運転も堀越の道に慣れるまでは大変でした。



西元芳子さん (孝志さん)

お祭りや、運動会などの行事も楽しかったです。自然豊かなこの堀越は素晴らしい所だと思います。皆さんどうぞよろしくお願ひします。



りましたが、来年こそ豊作であることを願うものであります。

今後の事業予定

- 1月／村政懇談会
- 2月／冬期スポーツ大会
公民館学習会
- 3月／美化運動
分館報発行

武田由美子

でも現実に戻ると忙がい一日が始まります。毎年同じ事の繰り返しですが、自然から鋭気をもらい、この時期をどうにか乗り切つて、穏やかで楽しい年末年始を迎えられたらいいなあって思います。

りんごで大忙がしの毎日です。この原稿を受けて、心から後悔してしまいました。忙がしいと気持ちがいっぱいになって、言わなくていい事を言ったり、イライラが態度に出たりして、人との間もギクシャクしてしまいがちです。そんな時はひと息ついて遠くの景色をながめたり、星を見上げてみると、不思議と、気持ちが落ち着いてきます。今朝は駒ヶ岳が白く雲を被り、朝焼けの雲ととても綺麗でした。ほんの数秒くらいですが、何か一日が良い日になりました。うで嬉しくなります。こんな恵まれた自然の中で暮らせて良かったと思える瞬間です。

黒谷箋

堀越区民運動会

平成十七年度堀越区民運動会が去る十一月三日行われました。あいにく朝からの雨降りでは実施が危ぶまれましたが、一種目を除きなんとか終了することが出来ました。二年に一度の運動会ではありますが、新しい人達の参加、競技種目も少しづつ変えて実施しました。結果、駒沢の四大会連続優勝で終了しました。

秋の訪れがいつになく遅い今年の秋の、終わりを思わせる様な小雨が降る朝、遠くの火花の音が聞こえてきました。やがて、予定通り運動会を行う連絡を聞き会場へと向かいました。

開会式トロフィー返還とセレモニーも終り競技が始まりました。

最初の部落対抗は『ストラックアウト』と言う新しい競技に若手中心の編成で臨みましたが、二枚しか落せずこれはどうなるかと思いましたが、他部落も似たり寄ったりの中、強運のラッキー7が落ちて辛くも一位となりました。

二番目の競技は『延長三十メートル』この競技は毎回ふるわない競技で今回も初めは短い紐ばかりで中々伸びませんでした。後半からは長いのが出るから走れ走れと頑張つて何とか一位になりました。

三番目は『貯蓄リレー』これは毎回やきもきする競技で、中盤までは中宮部落にリードされ中々追いつけないでいましたが、終盤からじつくりスポンジを絞り込んで行くと、かろうじて一位になりました。

四つ目の『運だめしリレー』は最悪でした。ジャンケンでは負け、たまに勝つ



余裕の笑顔？最後は駒沢でした

ても白ばかりで、やっと赤二つの五位でした。

最後の競技は『玉入れ』必死になって『拾っては投げ拾っては投げ』している選手に『頑張れ頑張れ』と

新鮮な気分を

味わった運動会

小 椋 健(東)

恒例となりました堀越区民運動会が、十一月三日に天神グラウンドで開催されました。当日は文化の日という晴天の特異日にもかかわらず、朝から雨模様でした。しかし開会式が近づくにつれて天候も回復し、無事開

会することが出来ました。私は、約十年間堀越を離れて生活をしていました。久しぶりの区民運動会は、変わらない天神グラウンドの風景と、昔ながらの手作りの応援旗に懐かしさを感じました。反面十年前は湯の

み茶碗だった貯蓄リレーもスポンジに変身してしましたし、テレビ等でおなじみのとなった「ストラックアウト」も登場して、とても新鮮な気分を味わうことができました。

多くの種目に多くの皆さんが参加し、それぞれにたくさん賞品が用意されていて、大変盛り上がる事ができました。ただ、都合で競技に参加で



応援しましたが、一分間はあつと言うまに終わり、何とか二回戦に進むことが出来ました。

肌寒い天気と時々雨の中、係の皆さんの御努力と地域の皆さんの熱意で、無事閉会式を迎えられよい運動会でした。

帰つてからの慰労会も楽しく、トロフィーのペナントを見れば昭和五十四年の第一回大会優勝、そして平成十一年の第十回大会から四大会連続の優勝となりました。

駒沢部落長 北林 弘



なかなかとれません

親子三代リレーに参加して

西元 文美(西部)

親子三代リレーに出場した西元俊男・文美・俊太です。

前回の運動会があった、平成十五年の九月に生まれ前回はベビーカーに乗せて見に行きました。親子三代を見ていて、次回の運動会なら西元家も出場できるゾーと思い今回出場しました。

二歳になった俊太は、結構走る事ができるので、ご気分さえ良ければ大丈夫、でもご気分が悪いとすぐ抱っこしてとぐさるのでまず走るなんて無理だろうと、出場予定を出したものの家族みんな不安でした。

運動会当日は、天候も悪く俊太の気嫌も悪く最悪で心配でした。お昼後、お菓子をもらいに行った頃から気嫌もよくなり、種目の時間が早くなったのもお陰で



お先に！



なかなか起きません



今年は小さな子供さんが多い年でした